

事務事業名	市道下熊谷3号線道路改良事業		所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	総合計画体系 (II)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》		所属G	工務G	課長名	森田 一
施策名		(07)道路網の整備	担当者名	江角 望	電話番号 (内線)	0854-40-1063 3741
基本事業名	(018)生活道路の新設・整備		予算科目	会計 款 項 目 011 410 110 115 013	中事業	起債道路整備事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (17年度~24年度)	当該地区における道路事情は幅員狭小な市道があるのみであり、車両の離合はもとより歩行者の安全を脅かしている状況である為、早期に市道を拡幅し、地域の発展に寄与すべきであるため、本事業を持って市道を拡幅し安全で安心かつ周辺地域の発展を目的とし整備するものです。	同地区は近年発展が進んでおり宅地化が進むなど、要開発地域として位置付けられているため、左記の道路事情をかんがみ、安心安全で地域を生きかせる道路として平成16年から開始された。

(2)トータルコスト

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体 計画
①事業費の内訳(概要)	事業費	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円	61,600	61,300	37,200	49,400	347,700
		その他	千円					
		一般財源	千円	0	0	2,000	2,600	18,300
	事業費計(A)	千円	61,600	61,300	39,200	52,000	0	366,000
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	533	130	130	130	
		人件費計(B)	千円	2,033	505	512	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	63,633	61,805	39,712	52,000	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	
② 23年度実績(23年度に行った主な活動)	・測量設計 ・用地補償 ・道路改良	⑤ 活動指標							
		ア 道路改良区間延長	m	50	200	30	200		
		イ 供用開始延長	m	180	377	450	648		
		ウ							
		エ							
③ 24年度計画(24年度に計画している主な活動)	・用地買収、支障物件移転補償 ・道路改良工事	オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	市民	⑥ 対象指標							
		ア 市民	人	42042	41917	41159	41032		
		イ							
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	安全にすれ違いができ、スムーズに通行できるようにする。	⑦ 成果指標							
		ア 改良済延長	m	180	197	73	198		
		イ 供用済延長	m	180	377	450	648		
⑧ 上位成果指標	安全で利便性の高い道路交通網を整備する。	ア 道路改良率	%	55.5	55.7	55.9			
		イ 生活道路が安全で便利であると感じる割合	%	58.9	57.1	55.7			

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
逐次改良が進んでおり、地域住民の利便性は向上している。	合併債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。	地元より、早期完成を求める声が多く寄せられている。

事務事業名	市道下熊谷3号線道路改良事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 車両の離合がスムーズになり安全で利便性の高い道路となり且つ歩行者の安全も確保される。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市道認定されているため。また当該事業以外での整備は困難であるため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 路線の位置的・役割的要因から広域的な利用が見込めるため対象は市民全体であると思われる
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 地元体制も協力的であるため予算次第で成果は相当向上する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 国道54号拡幅後迂回路線として利用されることが想定されるため休止できない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 本路線では、合併債を充当して実施しているが、これ以上有利な財源がないことまた、この起債も適用条件に制約があるため、統合することはできない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 国道54号付近は拡幅事業と同時進行する必要があるが国道54号の計画が頻繁に変更される為修正設計及び調査等を幾度も実施しなければならない事態が起きている。R54拡幅事業計画の早期確定により修正設計等にかかる委託費用を削減できる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 国道54号拡幅計画の見直しや変更設計をする際に市と密に連絡をとりあい調整する。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 位置的・地域的な路線の特性上沿線以外の市民にも多く利用して頂ける事が見込まれ対象者が特定されないことから公平性に問題はないと思われる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	予算措置及びアロケーなど国交省との調整を密に行うことで効率性が上がる。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		●																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 従来どおりの事業を行うには、合併債の借入を受けることが必要である。																									